

資源循環システム高度化促進事業

令和4年度概算要求額 **3.15億円 (5.7億円)**

産業技術環境局 資源循環経済課
 ①、②製造産業局 金属技術室
 ③資源エネルギー庁 鉱物資源課
 ・商務情報政策局 情報産業課

事業の内容

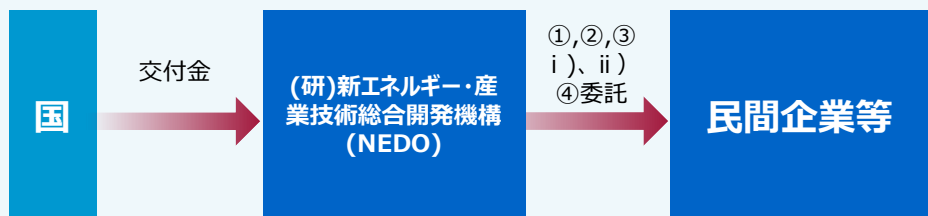
事業目的・概要

- 国内外の地上資源の高度活用システムを構築し、国際的に需要の増大が見込まれる有用金属の安定確保及び省資源・省エネルギー化を実現するための技術開発及び実証事業を行います。
- 具体的には、安価で高品質なリサイクル材の安定的な生産・供給を実現するため、廃小型家電等を製品レベル・部品レベルで自動選別するプロセス及び高効率な製錬プロセスなどを構築するための研究開発を行うことで、世界に先駆けた高効率かつ省エネルギー効果の高い資源循環システムの構築を行います。
- 製品・部品の物理選別技術（①及び②）は、令和3年度に開発を終了します。高効率な金属製錬技術（③）については、令和3年度までに得られた知見に基づき、令和4年度では、目的元素の分離条件の最適化とともに連続試験装置によるスケールアップの検討等を行います。動静脈産業の情報連携システム（④）について、動脈産業側から提供される情報量に応じた実機での分離・選別性能の検証を踏まえ、動静脈連携を実現するためのシステム構築を目指した開発を実施します。

成果目標

- 令和4年度までの6年間の事業であり、技術・システム導入により、中間処理コストを1/2に低減、レアメタル製錬コストを1/2-1/3に低減、動静脈情報連携システムを構築します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

